令和６年度　林業普及週間現地情報　（11/25～11/29）

森林管理課

第２回宮古林業研究会（八重山林業研究会合同）開催

12月３日（火）

令和６年11月27～29日に「第２回宮古林業研究会」を開催した。林業研究会は各地区の県・市町村林務担当者、林業事業体、木工者等で結成され、会員相互の資質向上や森林・林業の発展に寄与することを目的とし、開催している。今回は八重山地区の八重山林業研究会と合同で開催した。

八重山地区では石垣市有林及び県営林の造林地現場視察や、林業事業体及び木工者の施設見学、石垣島産リュウキュウマツが随所に使われた石垣市の新庁舎の見学を行った。宮古地区では宮古島市有林の造林地現場視察や、宮古島市苗畑の視察、宮古木工芸の施設見学、また、県内でも珍しいCLT材が使用された下地島空港の視察を行った。最終日には意見交換会を行い、宮古・八重山地区の造林履歴や各市町村の森林環境譲与税の使途について情報を共有した。意見交換会では「先島の木材を木工品だけでなく建築材としての利用普及を行ったらどうか」、「宮古で人手不足等の理由で木製品制作が難しい場合は八重山で作成してはどうか」といった意見も上がり、相互協力による先島産材の木材普及・啓発が期待できる会となった。

今後も宮古・八重山の木材生産及び利用の推進に関して普及啓発活動を進めていきたい。

▲石垣市有林の造林地視察

▲石垣市新庁舎の見学

▲トマイ木工所の見学

▲下地島空港の見学

▲宮古島市有林の造林地視察

▲宮古木工芸の見学

（報告者：宮古農林水産振興センター　仲宗根、玉城）